

明日を決めるのは 私たち



戦争法の廃止と立憲主義回復を求めて

平和といのちと人権を 6・12長野県民大集会

- 6月12日①
- 13時～16時
- 長野市・ひまわり公園

(長野裁判所東側)

★パレードあり

ひまわり公園→中央通り→長野駅前
プラカード持参大歓迎！



メインスピーチ

本間信和 さん

学生・SEALDs

安全保障関連法＝戦争法は昨年の9月19日、強行採決で可決し、今年3月29日に施行されました。

戦後70余年にわたって、他国の人を殺さず、殺されなかった歴史が終焉するかもしれない危機が高まっています。日本の若者の、自衛隊員の、そして世界の人々の血を流させないために、戦争法は廃止にしなければなりません。

私たち実行委員会は、施行された戦争法を廃止し、立憲主義を回復させ、安倍政権の下ですすめられる憲法改悪に反対する意思を示すため、6・12県民大集会を企画しました。戦争法廃止と立憲主義回復の意思を示すため、多くのみなさんの参加を呼びかけます。

集会プログラム

- 13:00 オープニング
沖縄民謡グループ「あやばに」
- 13:30 開会あいさつ
主催者あいさつ
政党代表あいさつ
●民進党
●日本共産党
●社会民主党
- 13:50 特別企画「スピーチ&トーク」
◎スピーチ：本間信和さん
◎トークセッション
本間信和さん×杉尾ひでやさん
- 14:10 地域の取り組み報告
アピール文採択
閉会あいさつ
- 14:30 パレード出発



トークゲスト

杉尾ひでやさん

元ニュースキャスター

■ 6・12県民集会呼びかけ人：裏面

■ 実行委員会構成団体：憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会/戦争をさせない1000人委員会・信州/県護憲連合/県憲法会議/県労組会議/県労連他

■ 連絡先：026-234-1231(県憲法会議) / 026-234-2116(戦争をさせない1000人委員会・信州)

6・12長野県民大集会呼びかけ人一覧(6/1現在)

石川文洋	報道写真家
市川英彦	鹿教湯病院名誉院長／長野県高齢者生協理事長
井出正一	前長野県日中友好協会会長
井出孫六	作家
井上英実	真宗大谷派僧侶
今井紀子	安保関連法に反対するママの会信州
色平哲郎	佐久総合病院医師
内坂徹	栗の木診療所所長
親里千津子	沖縄戦語り部
金井奈津子	フリーライター
鎌田實	医師
木島知草	人形劇がらくた座主宰
窪島誠一郎	無言館館主／作家
桜井佐七	桜井甘精堂会長
佐々木都	憲法9条を守る臼田の会副会長
佐藤豊	弁護士／元日弁連副会長
佐藤芳嗣	弁護士
新海寛	長野市憲法9条の会連絡会代表／信州大学名誉教授
鈴木信光	長野県保険医協会会長
曾我逸郎	中川村長
滝澤修一	弁護士
田澤洋子	原発に頼らない未来を創ろうプロジェクト
茅野實	長野県環境保全協会顧問
西村忠彦	きけわだつみのこえ70年の会代表
藤瀬恭子	ちの男女共生ネット代表／諏訪東京理科大学嘱託教授
又坂常人	信州大学名誉教授
松嶋澄雄	定専寺住職／長野県念仏者九条の会事務局長
松本猛	美術評論家／作家
山根敏郎	長野市日中友好協会会長
和田登	児童文学作家
若麻績敏隆	白蓮坊住職／画家

未来築くのは一人ひとりの思考と行動

本間信和さんスピーチ抜粋
2016年1月5日新宿
※市民連合・野党4党共同街宣



「主権者は私たち一人ひとり」

2015年、安保法制をめぐる国会でのまるで議論とは言えない審議、そして、それに対して国会前では、あらゆる世代、立場の人々が反対と抵抗の声をあげました。私は、この出来事を、今一度振り返らないわけにはいかないと思います。

法律の通し方についても、到底、私たち国民の理解を得ようとする姿勢は見えず、最後には、議席の数に物を言わせて、「強行採決」という形で幕が閉じられました。これほどの怒りを私は忘れることはできません。まだ国民は忘れていませんよ！

しかし、法案が通ったまさにあの日、路上には新しい種が蒔かれていました。戦後70年の去年の夏、戦争を知らない世代が勇気を持って立ち上がり、声をあげ、強権的な政権に対して抵抗の声をあげました。そして国会前には、立場も年齢も異なる、無数の様々な人が押し寄せ、ともに声をあげました。

『憲法守れ』『命を守れ』『平和を守れ』『自由を守れ』『民主主義ってなんだ』——。私たちは声をあげました。

若者の政治離れと言われるこの国で、Twitterやネットでのいわれのない誹謗中傷に心を痛める日もありました。

しかし、それでも、私たちが声をあげるのは、私たちに確信があるからです。それは、この国の主権者が私たち一人ひとりだということ。私たち一人ひとりが、現実の政治を変えることができるということ。一人一人が孤独に思考し判断し、行動する。それこそが、私たちの未来を築いていくということです。

もう私たちには、準備ができています。小さな違いや対立を超え、現在の強行的な政治を押し進める現在の政権に対して、抗う準備が。政治家任せにせず、政治家におもねりもせず、私たちの声を政治に反映させていく覚悟が。

今、求められているのは、立憲民主主義を回復させ、個人の尊厳や自由を尊重し、持続可能な成長ができる社会です。この社会の実現に向けて、ともに声をあげ続けましょう。いつだって、この国の政治を動かしているのは、私たち一人ひとりです。それは政治家ではない。偉い誰かではない。この国の主権者は私たち一人ひとりですよ！ そのことを絶えず思い出していきましょう。

覚悟を持って、責任を持って、一人ひとりが孤独に思考し判断し行動する、そのことがこの国の政治を変えていくはずです。よろしくお願いします。